

平成28年度 健康管理報告書

看護師 川崎小百合

〈健康管理について〉

平成28年度も前年度と変わりなく行政指導の範囲を計画として健康管理を行い、管理については予防に重点を置き、入所者に対してケースバイケースで対応し進めることが出来たので個々の健康を維持管理出来たと思います。

平成28年度は、11月1日にインフルエンザ(3価)の予防接種を入所者一斉に行いました。日常生活においても徹底してうがい・手洗い指導を行い、加湿付き空気清浄機を使用し居室の湿度管理をしております。今年、2月4日に1名インフルエンザA型の診断を受け、翌日発熱者が数名発生しましたが、魚住Drに報告を行い2月7日にタミフルの予防投与を全員に行った為、重症化及び感染の拡大を防ぐことが出来ました。現在でも職員・園生共に毎食前の手洗いと消毒液を用いた消毒は継続しています。

28年度は、投薬調整を含め9例の入院がありました。

- 1) 37歳 男性 総胆管結石 胆嚢摘出手術
- 2) 76歳 女性 腹壁癒痕ヘルニア
- 3) 49歳 女性 卵巣腫瘍 子宮摘出手術
- 4) 48歳 女性 投薬調整
- 5) 46歳 女性 肺炎 胆嚢炎からの胆嚢結石腹腔鏡下手術 (計2回)
- 6) 56歳 男性 内痔核根治術
- 7) 49歳 男性 投薬調整

現在の支援費制度では通院支援と受診時の支援までが施設側の支援対象となり、後は家族にお任せする体制になっています。

○平成28年度 入院時の状態説明

上記の事例では、家族付き添われ入院又は、手術を受けております。

当園は、重度・最重度の入所者が多く、保護者及び兄弟姉妹も高齢化しています。病院側からの付き添い要請があったとしても、現在の学園職員数及び体制では入院時に十分な手が届かないのが実態です。しかし、現実に入院問題が起きればどの様な方法でも対応しなくては入院治療が受けられないという問題が生じてきます。

医療機関に対して、知的障害者をいかに理解してもらおうかといった色々な働きかけと家族の努力、医師との協力体制によってしか実現しません。

本当に一般の人が入院するという意味では、常識では考えられない様な事態が生じますし、入院問題ではいろいろとハードルの高さに正面からぶち当たって来たという経過がありました。

今後、現在の体制の流れがどう変化して行くかは判りませんが、どのような体制になろうとも、益々増えてくると思われる知的障害者の医療問題に対し、実際にどの様に対応していけるかが大きな課題として残るところです。

〈精神科疾患者の治療〉

平成28年度は精神科の診療は前年度に引き続き、嘱託医となられた鳥巢医師により月に1度（第2木曜日）の診察が行われました。

現在76名の入所者の中で、44名の入所者が診察・投薬治療を受けています。診療状況は治療を受ける本人・医師・看護師・支援員・保護者という態勢で治療を進めています。

平成28年度は、全体としては落ち着いていましたが、認知症状に対し投薬が開始されるなど、高齢化に伴う対応が出現してきました。今後とも、家族の協力の基に、職員は入所者の症状の変化を把握しながら、病気が少しでも改善される方向に向かうように取り組んでいきたいと思ひます。

〈歯科治療〉

入所者の歯科治療については、重度・最重度の知的障害者を持つ人達でも問題なく受診する事が出来るようになっていひます。しかし、中には情緒不安定の人がいひ時々騒がしい場合もあります。当園の入所者は、定期的な検診・治療のおかげで歯科に関しては普通の人並みに口腔内の状態保持はできていひます。それを維持させて行くためには、毎食ごとの歯磨きは支援員に頼らなければなりません。歯磨きに関しては昨年同様、本人が磨いた後に職員が磨き直しを行ひていひます。

人が生きていく上で歯はとても大切ですから今後もブラッシング指導の大切さを基本におきながら口腔衛生に力を入れていひたいと思ひます。

現時点での歯科治療に対する問題点は、入所者の高齢化による義歯の装着者が増えたことと、その噛み合わせがうまくいかないといった点です。また装着した義歯をすぐに外して捨ててしまうといった事が問題となつていひます。

〈健康維持・管理内容〉

1) 毎日実施

投薬を必要とする園生

精神科：統合失調症、癲癇発作のある人。

内科・眼科・その他、必要に応じた場合の対処。

2) 毎週実施

① 全園生に対する検温（原則として毎週月曜日に実施）

② 血圧測定（病気により28名実施）他必要に応じ測定

③ 魚住内科胃腸科医院 隔週火曜日往診

3) 毎月実施

① 体重測定

② 精神科医による診察

③ 骨粗鬆症薬内服者への注射（ボンビバ注射）

4) 3ヶ月に1回実施

- ① 皮膚病検査

5) 年に1回実施

- ① 心電図検査 (35歳以上)

- ② 身長測定

- ③ 委託検査

歯科…全園生対象 (4月実施)

インフルエンザ予防接種

精神科内服者の血中濃度検査 (年2回)

- ④ 眼科検診

- ⑤ 子宮癌検診 (35歳以上の女子で診察可能な人のみ)

- ⑥ 骨密度検査 (40歳以上)

6) 法定検査

- ① 健康診断…前期・後期の全2回 (前期・後期共班別通院)

(成人病検査・血液検査・尿検査・血圧測定実施)

他、健康診断の結果、医師の指示のある人のみエコー検査・その他の検査を実施

- ② 胸部レントゲン検査…年1回前期65歳以上 (県の指導より)

以上、平成28年度の医務に於ける計画に関して、当初計画の内容通りに実施できたと思っています。全ての結果は記録として残しています。

〈高齢化対策〉

重度・最重度の知的障害者の人達の健康状態を見ていると一般の人より遥かに加齢化は早いと感じます。また重度・最重度の知的障害者を持つ人達は痛みなどの症状を訴えることが出来ず、目に見える症状が出現してからの通院で重症化により入院というケースが今年度は数回ありました。

医療機関からの入院条件としては、本人が訴えることが出来ないか或いは分かり辛いために、家族並びに学園職員の付き添いが必要であること、医師が患者さんに治療をするにあたって、インフォームドコンセントを行いますが、その時の了解が確実に保護者の理解がなされているのか、といった医療事故を防ぐための保障があるかないかといった事です。

平成28年度は、のべ9例の園生を入院させましたが、益々重度の知的障害者を受け入れてもらえる専門病院の必要性を感じました。入院問題については今後も色々な問題点が生じると考えます。保護者の方も頭の中では分かっておられるようですが、現実には我が子の問題として起きた場合は、慌てふためいた状態でどうして良いか分からなくなってしまう事が殆どです。

今までも人権尊重ということで個人情報となる個人的治療経過等に関しては、各個人ごとに通知してきましたものの、実際に保護者に知らせようとしても、なかなか連絡が付き辛い結果となっています。この点に関しては保護者との会合の際に、「緊急の場合に間に合わない事が生じるため、確実な連絡先を学園に知らせておいて欲しい」と伝達して、情報の取りまとめを行いました。

た。入所者が学園で生活する上で、個人ごとに抱えている病気等の問題については、その時、その場面で出来るだけ詳しい情報をお伝えし、危険な状態を最大限に避けていきたいと思っております。

知的障害者の方々の置かれている現在の医療体制について、自分達の子どもさん(入所者)の置かれている現実をもっと知って頂く事が基本となります。保護者の皆様方のご協力を得まして今後とも進めて行きたいと考えています。

学園の健康管理体制

学園の健康管理体制に沿って実施。

嘱託医、協力医療機関及び準協力医療機関

下記の通りです。

1、鷹取学園嘱託医

精神科 医療法人 福翠会 高山病院 〒822-0007 直方市大字下境3910番地50

電話 0949-22-3661

精神科医 鳥巢 美穂

2、協力医療機関

内科

魚住内科胃腸科医院 院長 所在地 電話番号	魚住 浩 直方市頓野1919-4 0949-26-6610
---------------------------------------	--

外科

西田外科医院 院長 所在地 電話番号	西田 博美 直方市頓野2104-19 0949-28-1573
------------------------------------	--

精神科

高山病院 院長 精神科医 所在地	高山 克彦 鳥巢 美穂 直方市下境3910番地50
----------------------------------	---

電話番号	0949-22-3661
------	--------------

3、準協力医療機関

歯科

安河内歯科医院 院長 所在地 電話番号	安河内 半六 直方市日吉町3-12 0949-24-0577
-------------------------------------	---

眼科

阿部眼科医院 院長 所在地 電話番号	阿部 健司 直方市溝掘2-3-13 0949-22-2953
------------------------------------	---

内科

福岡ゆたか中央病院 院長 所在地 電話番号	野田 晏宏 直方市感田3573-1 0949-26-2311
---------------------------------------	---

外科

西尾外科医院 院長 所在地 電話番号	西尾 禎一 直方市津田町9-39 0949-22-2684
------------------------------------	--

皮膚科

おおもり皮膚科クリニック 院長 所在地 電話番号	大森 正樹 直方市感田井牟田1930-1 0949-26-6520
--	--

産婦人科

田中産婦人科クリニック 院長 所在地 電話番号	田中 康司 直方市頓野1000-27 0949-26-8868
---	--

耳鼻科

岡村耳鼻咽喉科 院長 所在地	岡村 浩一郎 直方市頓野3816-3
-----------------------------	------------------------------

電話番号	0949-22-2683
------	--------------

その他、園内における医療対応の変化

◎ 結核検診について

魚住医院で実施しました。（平成17年度から65歳以上のみ）

◎高齢化対策の一環として、西田外科医院の協力を得入所者40歳以上を対象とし、骨代謝採血をおこなっています。今年は2月に採血しました。採血結果前回21名に加え3名骨粗鬆症と診断されました。3名に対しては、家族に承諾を頂き、内服・静脈注射(月1回)治療を開始する事になりました。現在園生26名(内服のみ2名)を治療行っています。

今年度は転倒・尻もちによる骨折もあり、今後は歩行状態の観察等を重点的に行っていきたいと思います

重度知的障害者の今後の医療的問題点

- ・知的障害者を診察してもらえる専門医が少ない。
- ・身辺自立の出来ない、重度の知的障害を持つ人達を、入院させてもらえる病院が殆どない（精神科の病院でもなかなか入院させてもらえる所が少ない）。
- ・入院に際し、保護者以外に学園職員の付き添いが必要な場合、園内の職員体制が崩れ、園生全体が不安定になる。
- ・益々高齢化が進み、具体的に知的障害者の医療問題をどの様に解決していけば良いのか、またその様な体制が出来るのか。